

<h1 style="font-size: 48px; margin: 0;">宮古</h1>	<h1 style="font-size: 48px; margin: 0;">ワイドーぱり</h1>	<p>発行所</p> <p>宮古農林水産振興センター農業改良普及課</p> <p>〒906-0012 宮古島市平良字西里1125</p> <p>TEL : 0980-72-3149</p> <p>FAX : 0980-72-9751</p>
	<p>「活力ある農業」の意味 (ワイドー=がんばれ、ぱり=畑)</p>	

## 令和4年度 農業改良普及指導活動の方針

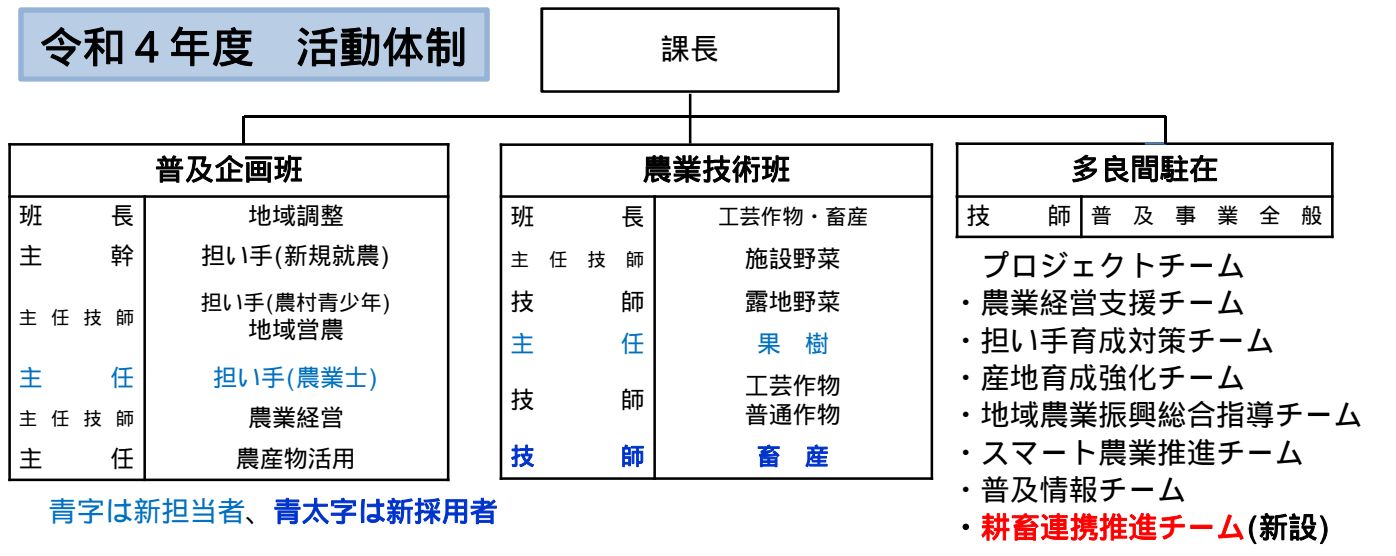
今年度は、昨年度末で職員が1名退職したことに伴い、新採用職員が1名採用されました。効果的な普及活動となるよう業務分担の一部を変更した新たな体制で業務にあたりますので、よろしくお願いいたします。

農業改良普及課では、【沖縄県協同農業普及事業の実施に関する方針】に基づき、農林水産部の長期計画である【新 沖縄21世紀農林水産業振興計画（仮称・現在策定作業中）】の達成に向け、安定的な農業の担い手育成、宮古ブランドの確立に向けた産地育成、環境と調和した農業生産、地域資源活用による農村振興、の4つを柱に策定した【普及指導計画】に基づいて活動しています。

当課は、農家の皆さんや地域に接した農林水産部の最先端機関として、宮古島市や多良間村、JAや製糖工場等の関係機関、関係組織との連携を密にし、当地域に合った各種栽培技術や経営能力の向上を支援し、優れた農業者の育成・確保とともに宮古ブランドの確立等普及指導課題と対象を重点化し、組織力を最大限に発揮できるよう特に重要な課題に対してプロジェクトチームを設置し、班を横断した総合的な支援体制を構築して取り組み、効果的な業務を推進します。

農業の担い手育成・確保を最重要課題として位置づけ、優れた農業の担い手育成を核として、関係機関や指導農業士等、地域リーダーのみなさんとの連携を強化しながら、新規就農者の育成と早期の就農定着を目指し、栽培技術の修得や農家間の交流促進を図ります。

今年度もご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 令和4年 春の農作業安全確認運動の期間です！

令和4年3月1日(火)～5月31日(火)の3カ月間は、春の農作業安全確認運動期間です。

トラクター等における死亡事故は、シートベルトの装着により大幅に低減できることが明らかになっており、そのため、令和4年は『しめよう！シートベルト』を推進テーマに全国で一体となって農作業機械の死亡事故防止に向けた運動が展開されています。

宮古島でも、トラクター等の農作業機械の運転時には、お互いにシートベルト装着を呼びかける『声かけ運動』を実施し、死亡事故の発生を防いでいきましょう！

農林水産省では、農作業事故を防ぐ安全ポイントや資料のほか、『仕事猫』とコラボした作業安全を普及啓発するステッカーを作成・配布しています。 **二次利用などの禁止事項がありますので注意してご利用ください。**  
 事務所や機材に貼付け、作業安全啓発にご利用ください。

【共通】  
 作業安全規範で安全ヨシ！  
 (PNG:561KB)



【農業】  
 シートベルト&安全フレーム  
 で安全ヨシ！(PNG:573KB)



【林業】  
 防護衣&防護ブーツで安全ヨシ！(PNG:568KB)



【漁業】  
 ライフジャケットで安全ヨシ！(PNG:469KB)



【製造業等】  
 点検前の電源オフで安全ヨシ！(PNG:421KB)



農林水産省 農林水産業・食品産業の現場の新たな作業安全対策 ([https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyou\\_anzen/](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyou_anzen/))

## 土壌分析を実施してみませんか？ ~ 土壌検診のすすめ ~

### なぜ土壌分析をするの？

土壌分析は「畑の土の健康診断」といえるもので、土づくりへの第1歩！  
施肥設計を適正に行うためにも土壌分析は重要です。

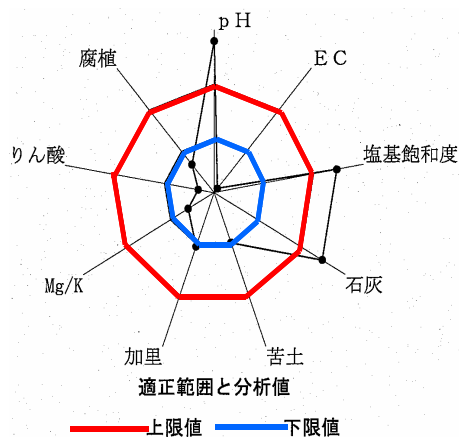
### 土壌分析で何が分かるの？

**pH**：作物にはそれぞれに適したpHがあります。  
畑のpHと作物のpHが合わない場合は  
pHを調整する必要があります。  
また、肥料の効き方（溶解）にも影響します。

**EC**：土壌中の塩類濃度の目安となります。  
一般に、窒素量（硝酸態）との相関が強く、  
この値が高いと、塩基障害の原因にもなります。

**腐植**：腐植が増えることで、土壌が団粒化し、  
根張りや排水性の改善になります。

**加里（K）、苦土（Mg）、石灰（Ca）、リン酸（P）**  
各成分のバランスが分かることで、肥料の選択や使用量が決められます。



### 土壌分析は毎年行う必要があるの？



とうがん葉のマグネシウム欠乏

pH、塩基（石灰、苦土、加里）が高くなっていないか？  
堆肥、肥料、鶏ふんの使い方が正しかったか？

使用する堆肥の種類や量を変えた  
これまでと比較して、どの位残っているか確認しましょう。

去年、作物の欠乏・過剰症があらわれた。  
塩基のバランスが悪くなっていないか？

特に施設栽培では、肥料の蓄積が多くなるので、  
土壌分析を実施し、基肥の目安とした方がよいです。

今年度は5月16日～6月30日まで  
サンプルの受付を予定しています。

土の採取方法や提出先など  
詳細は普及課ホームページや新聞にてお知らせします。

### サンプルの取り方(注意点)

- ・サンプルは乾燥させてください。
- ・細かい石や枝は取り除いてください。
- ・土は細かく砕いて、ふるいにかけてください。

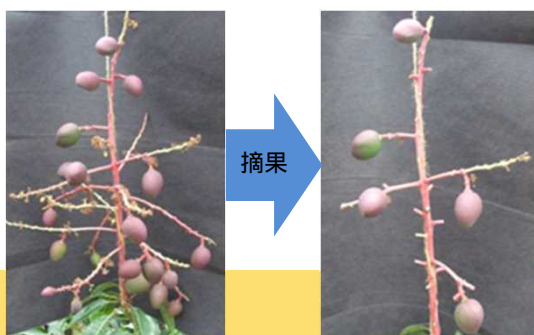


## マンゴー5月の管理ポイント

今年の満開期は2月中旬頃となりました。しかし、天候不順により着果率の悪さや生育ステージのばらつきが見られます。以下の管理ポイントを参考に、収穫まで適期管理を行い、品質の良い果実生産を目指しましょう！

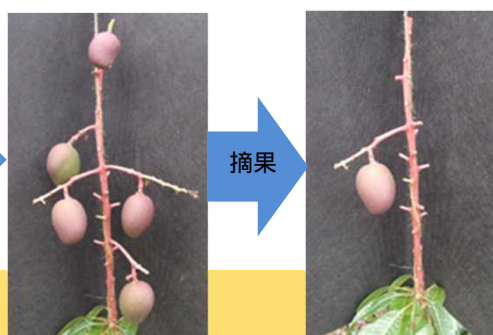
### 摘果のポイント

果実が鶏卵ほどの大きさになったら、下の図を参考に仕上げ摘果をしましょう。結果母枝の太さや樹全体の着果量、樹勢、旧葉の枚数などのバランスを考え、1枝に1～2個程度を着果させるようにしましょう。今期の着果負担が大きいと、来年の収穫量にも影響します。



一次摘果(粗摘果)

果実が親指大の時5～6個程度選ぶ



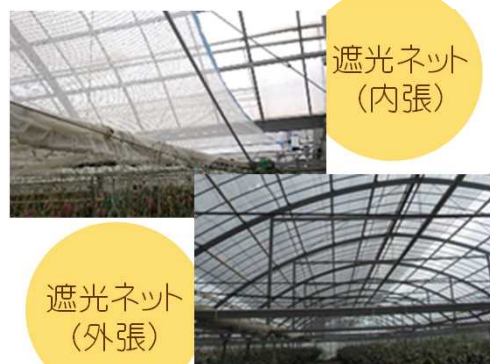
仕上げ摘果

鶏卵大の時収穫する果実を1～2個にする

### 高温対策

35以上の高温や強い日差しにより、果実の肩口を中心に**日焼けが発生**します。高温下では、肥大が進まない・十分に着色しない・低糖度など、品質に影響を及ぼします。

**出入口の妻面等のビニール除去、遮光ネットの設置**などの工夫をし、ハウス内の温度を30前後に保つよう心がけましょう。また、夜温が20を下回ると果実の肥大が緩慢になるので、夕方以降のビニール開閉に気をつけましょう。



遮光ネット  
(内張)

遮光ネット  
(外張)

### 病虫害対策

**病虫害の発生を抑制するためには早期発見・早期防除が決め手**です！定期的に園内を見回ることを心がけましょう。

また、1986年に根絶した**ミカンコミバエ**について、近年、外国からの飛来が増加しています。マンゴーも寄主植物となっていますので、**施設の出入り口は出入り時以外は必ず閉める、防虫ネットの破れは補修する、落下果実や摘果後の残さ等はビニール袋に入れ密閉して処分するように**しましょう。

ミカンコミバエがまん延すると地域に大きな被害をもたらしますので、まん延防止にご協力をお願いします！



マンゴーの裂果に飛来した  
ミカンコミバエ

# 台風対策

宮古島への年間台風接近数は平年で約4個です（宮古島地方気象台HPより）。  
台風の接近前、及び接近後には対策をとりましょう！

## 施設野菜(ゴーヤーなど)



ネットによるべたがけ

**台風通過後には以下の対策を実践しましょう。**

傷のついた果実は取り除く。  
塩分や泥を水で洗い流して、登録のある殺菌剤をまく。  
破れたビニールの修繕やハウスバンドを締め直して  
ハウスを固定する。

べたがけは茎葉が動かないよう、しっかり固定することが重要です。

## 露地野菜(オクラ)



「草丈50cm未満の場合」  
☞ 防風ネットでべたがけする！



「草丈1m未満の場合」  
☞ ヒモで株の上下を固定する！



「草丈1m以上の場合」  
☞ 草丈30cm程で切り戻す！

## マンゴー

### 【事前準備】

- ・防風ネット、ビニールは破損していませんか？
- ・台風前後に散布する殺菌剤は用意してありますか？
- ・断水した場合の散水用の水は確保できていますか？

### 【事前対策】

- ・ハウスに防風ネットを設置し、風圧を弱める対策を行いましょう。
- ・銅剤(ICボルドー66Dなど)を散布し、かいはよう病等の予防を行いましょう。

### 【事後対策】

- ・台風通過後は潮害軽減のため、樹上から散水し、塩分を洗い流しましょう。
- ・果実が乾いたら殺菌剤を散布し、炭そ病などを予防しましょう。



吊り棚上の防風ネット

## さとうきび

### 【事前対策】

- ・生育初期の若いさとうきびは折れやすいので、積極的な施肥・かん水で台風前に伸長を促進しましょう！
- ・倒伏で圃場に入れなくなる前に、施肥・農薬散布・高培土など管理作業を済ませておきましょう。

### 【事後対策】

- ・スプリンクラーのある畑では、速やかに散水して除塩しましょう。
- ・植付け直後の苗が土砂で埋没したら、芽掘り作業で土を除去し、発芽を促しましょう！



スプリンクラーで除塩



# 新規就農サポート講座受講生募集!

新規就農者が早期に経営確立できるよう、基礎的な内容が学べる講座を開設します。

【受講対象】就農3年以内の新規就農者、青年農業者、就農希望者 など

【開催場所】宮古農村青少年教育センター、農業研究センター宮古島支所、他

【申込方法】受講申込書を **6月3日まで** に農業改良普及課(沖縄県宮古合同庁舎1階)へ提出

	開催日時(予定)	講座内容
第1回	6月15日(水) 14:00 ~ 16:00	1. 就農するにあたって 2. 新規就農体験 3. 宮古島の補助事業 4. 土づくり
第2回	7月20日(水) 14:00 ~ 16:00	1. 新規就農支援対策 2. 農作業安全の基礎知識(実演) 農作業安全講習会 農業機械操作実習
第3回	8月17日(水) 14:00 ~ 16:00	1. 施設野菜の現状と基礎知識 2. 露地野菜の現状と基礎知識 3. 病害虫防除対策と農薬の適正使用
第4回	9月21日(水) 14:00 ~ 16:00	1. さとうきび栽培の基礎知識 2. 農業委員会の取り組み 3. 農業共済事業 4. GAP(農業生産工程管理)の概要
第5回	10月19日(水) 14:00 ~ 16:00	1. 果樹栽培の基礎知識 2. JA各組織、ファーマーズマーケットあたらす市場の活動 3. 経営管理、農業関係資金、税、記帳代行
第6回	11月16日(水) 13:30 ~ 16:30	1. 農業研究センター-宮古島支所視察 2. 農業のプロに学ぶ~現地視察研修~

開催日時、内容等は都合により変更することがございます。お問い合わせください。

## 就農ステップアップ講座について

新規就農者等の早期の就農ビジョンの実現と経営確立を目的に、応用的・実践的な内容を加味した講座を開催します。詳しくは、農業改良普及課までお問い合わせください!

### 【対象者】

30名程度(農業次世代人材投資事業対象者、新規就農一貫支援事業対象者など)

### 【内容】

講習会や受講生・優良農家での現地検討会を行います。

- ・全体講座 : 1回
- ・品目別講座 : ゴーヤー、とうがん、さやいんげん、オクラ、カボチャ、マンゴー、畜産を各1回ずつ開催予定

### 【講座の通知方法】

受講者には案内文書を郵送および電話連絡いたします。